

7がつひかりごう

令和元年7月1日 輝保育園

7月は、梅雨から夏へと自然が変化していきます。雨上がりのにおい、空の色、雲の流れ、まぶしい太陽など、子どもたちが感じ取った自然の不思議さや発見を共有していきます。今月からプールが始まり、遊びがますます活発になってきます。友達と同じ遊びを通して楽しさを共有する経験や、水の怖さ、約束を守る大切さを知る良い機会です。様々な経験をすると共に、体力も消耗します。ご家庭での健康管理をよろしくをお願いします。



【【 保育参観 】】

前月から保育参観を行っています。

ご家庭では見られない一面を発見できたのではないのでしょうか。

5才児、1才児が終わり、4才児のスタートです。

午後の個人面談ではご家庭でのお子さんの様子を伺ったり、育ちの確認をしたりと、貴重な時間となっています。

ご協力ありがとうございます。

★ プール遊び ★

今月から、本格的にプールが始まります。

先日、ひまわり組さんが、汗びっしょりになりながらプール掃除をしてくれました。

子ども達はとても心待ちにしています。

楽しいプール遊びも、カード忘れ、記入もれ、日付を間違えて記入する、等の不備があると、元気でプール遊びが出来ません。

毎日、お子さんの健康状態を確認し、カードに記入して持たせて下さい。

= 7月の行事予定 =

4日(木) 避難訓練

25日(金) 身体測定、お誕生会

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 生活習慣 ☆☆

～ 生活習慣は育ちの基礎 ① ～

基本的な生活習慣と呼ばれる食事、排泄、睡眠、清潔、着脱衣、お手伝い、あいさつといった習慣が年齢相応にきちんと身に付いているということは、子どもの心と体の健やかな育ちにとってとても大切なことです。

現代の子どもの深刻な問題として指摘されている「学ぶ意欲」、「自尊感情」、「規範意識」、「体力等」の低下の一因に基本的な生活習慣の乱れがあると考えられています。

1. 望ましい「生活習慣」は「自尊感情」を高める方法の一つです。

例えば、生活習慣と自尊感情の関係を考えてみましょう。

自尊感情とは「自分自身を基本的に価値あるものとする感覚」のことです。

自分に自信をもち、自己を肯定的に捉えることができるということは、子どもが意欲的に生活し、自分の可能性を伸ばしていくうえでとても大切なことです。

福岡県が平成20年に行った自尊感情調査では、生活習慣が望ましいグループとそれ以外のグループの子ども達の自尊感情の高い子の割合を比較したところ、

自尊感情の高い子の割合は、前者のほうが明らかに高くなっています。



「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

こどもものようす

たんぽぽぐみ
0才児



朝のおやつの前にお集まりを始めました。歌を歌い、名前呼びでは、手を挙げたり、返事をしたりと、簡単なものですがみんな楽しそうに参加しています。始めの頃は、食卓に座るとおやつの時間と分かっている子は「早く食べたいよ！」と手を叩いて訴えたり、ピアノの音が聞こえてくると不思議そうな顔で座っていました。毎日、お集まりをやっていくうちに、歌をうたう時間には笑顔が見られたり、お友だちが手を挙げ返事が出来た時にはパチパチと拍手をしたりとお集まりの流れもしっかり覚ええました。おやつを急かしていた子も不思議そうな表情だった子も今では楽しそうに参加し、おやつの時間を迎えています。今、みんなの好きな歌は「かえるのうた」と「手をたたきましょう」の歌です。みんなノリノリで体を揺らし手を叩いて歌っています。

たんぽぽぐみ
1才児



今年度の1才児は、歌や手遊びが好きな子が特に多く、毎日楽しく歌ったり、手遊びしたりしています。6月の歌の、カエルの歌では、大きなカエル、小さなカエル、中くらのカエルになりきって、歌って楽しんでいきます。保育者が歌っているのを真似して、低い声を出そうとしたり、小さな声で歌ったり、それぞれの表現で楽しんでいきます。園庭では、虫探しに夢中です。ダンゴムシや、小さな虫を見つけると、保育者の所に来て、手を引いたり、「来て！」「おいで！」と言ったりして、連れて行き、虫がいたことの驚き、嬉しさを伝えています。一緒に驚いたり、喜んだりしながら気持ちを共有し過ごしています。今月からは、プール遊びが始まります。体調や皮膚状態が悪くならないよう気を付け、プール遊びを楽しみたいと考えています。

すみれぐみ
2才児



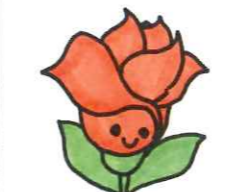
虫の扱い方を学ぶために、すみれ組で、カミキリムシと蝶のおおむしを育てました。カミキリムシが力強く動く様子に、興味津々の子どもたち。初めて見る子どもも多く、「これ何？」と、みんなで虫かごを囲み、関心をもって観察していました。蝶も、おおむしからさなぎ、蝶になる姿を観察し、図鑑を持って来て「これが生まれる？」と蝶の誕生を、楽しみにしていました。残念ながら、脱皮ですぐに死んでしまいました。虫にも命がということを学ぶ、良い経験ができたと思います。これをきっかけに、園庭でだんごむしを見つけると、「優しく触るね」、「そっと見るね」と優しい声が聞かれるようになりました。また、以前のように虫をつぶしてしまったりすることも見られなくなりました。小さい子供たちなりに、何か感じる事ができたと思います。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



雨上がり、砂場に大きな水たまりができていました。「泥んこ遊びをしよう」と提案すると、「やったー！」とびきりの笑顔が。準備を済ませ、砂場へ移動しました。水たまりに目を輝かせつつも「入っちゃダメもんね？」と尋ねる子ども。「いいよー！」と伝えると、「え！いいの？」という表情を見せ、嬉しそうに駆けて行きました。最初はみな上品に遊んでいましたが、徐々にダイナミックになり顔まで泥だらけ、笑顔もいっぱいです。遊んだ後は、全員の水を洗いながら着替えを促し「せんせ～、袋がなーい！」と言われれば、「ちよっと待って」と伝え、周りを見れば脱いだままのパンツが散乱、名前のない服が数枚、「誰の？」と聞いてもなぜか皆が「ちがーう！」と。慌ただしい時間が待っていましたが、こども達の笑顔が溢れとても楽しい時間でした。

ばらぐみ
4才児



畑にナスとトマトを植えました。日に日に大きくなる苗に、「また大きくなって」と目を輝かせています。花が咲くと「黄色いお花可愛い！星みたい！」という声や、実り始めると「こっちはなってる！」と嬉しそうにお友達同士での会話も弾み、観察が日課になりました。「先生水やりしていい？」と水やりをしたり、保育者が雑草を抜いていると、「私もする！」「僕もする！」とお世話にも積極的です。野菜を育て、生きている植物に身近に触れることで、生命を感じ、大切にしようという心が育ってきます。その中で、花が咲いて、野菜が実り、収穫し、枯れてくという生命の誕生から終わりまでの過程に遭遇することも、心をより豊かに育てる大切な機会です。生命の大切さを実体験で学び、心の成長も願いながら今後も取り組んでいきます。

ひまわりぐみ
5才児



5月に植えた野菜が実り始め、子ども達は収穫することを楽しみにしています。遊びよりも水やりを優先し、自分の靴と洋服を濡らしながらも、たっぷりと丁寧に水をかける子どももいて感心します。また、虫にも興味・関心を持ち、虫を捕まえて保育室に連れてくるのですが、すぐに死なせてしまい、死んだら園庭に捨てるということを繰り返していました。そこでどうすれば虫を大切にできるか考えました。子ども達からは「草を入れて上げる」、「帰る時には逃がす」、「虫が好きなものを調べる」という声が聞かれ、保育者からは「水を少し入れて上げる」ことを提案しました。蛾の幼虫を育てていて、最近さなぎになりました。今回は大切に育て、成虫になるのを楽しみにしています。この経験が命を大切にすることへの学びにつながることを願っています。